

平成 24 年度 シラバス	学年・期間・区分	2 年次 ・ 通年 ・ A 群	
	対象学科・専攻	電子制御工学科	
情報処理 I (Information Processing I)	担当教員	前期担当： 福添 孝明 (Fukuzoe, Takaaki) 後期担当： 植村 眞一郎 (Uemura, Shinichiro)	
	教員室	福添： 普通教室棟 3 階 (TEL：42-9086) 植村： 電子制御工学科棟 3 階 (TEL：42-9088)	
	E-Mail	福添： fukuzoe@kagoshima-ct.ac.jp 植村： uemura@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態／単位の種別／単位数	講義・演習 / 履修単位 / 2 単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (100 分)] × 30 回		
[本科目の目標] プログラミング用の C 言語を用い「プログラムとは何か」、「プログラム言語にはどのような機能があるか」「現実の問題を計算機によってどのように解決するか」を習得させる。			
[本科目の位置付け] IT 技術が発展している現在、技術者に要求されるプログラミング技法について学習する。更に高学年になるにつれて、機械機器等を制御する手段としてのプログラミング言語として活用される。			
[学習上の留意点] 初学者にとってプログラミング能力の向上は、数多くの例題を実際に入力し実行してみることが最良の方法である。空いた時間と計算機をおおいに活用し、コンピュータという強力な問題解決のツールを身につけて、学習の幅と深さを広げるべく訓練すること。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. C 言語プログラミング	14	<input type="checkbox"/> C 言語のプログラミングについて、全体的な技術要素を把握することが出来る。	教科書 pp.10-52 の内容について概要を把握しておくこと。
--- 前期中間試験 ---		授業項目 1 について達成度を確認する。	
2. 変数と定数	8	<input type="checkbox"/> プログラムで 2 進法や 16 進数が良く用いられる理由を理解することが出来る。 <input type="checkbox"/> 変数や定数の種類について、理解することが出来る。	教科書 pp.53-68 の内容について概要を把握しておくこと。
3. 演算子	6	<input type="checkbox"/> 様々な演算子を理解することが出来る。型変換について理解することが出来る。	教科書 pp.69-84 の内容について概要を把握しておくこと。
--- 前期期末試験 ---		授業項目 1～3 について達成度を確認する。	
試験答案の返却・解説	2	試験において間違った部分を理解できる。	
4. 条件分岐とループ			
4.1 キーボードからの入出力	2	<input type="checkbox"/> キーボードからの入出力が理解出来る。	教科書 pp.85-102 の内容について概要を把握しておくこと。
4.2 多分岐, 条件分岐	2	<input type="checkbox"/> 多分岐, 条件分岐が理解出来る。	
4.3 switch-case 文	2	<input type="checkbox"/> switch-case 文が理解出来る。	
4.4 繰り返し (for,while)	2	<input type="checkbox"/> 繰り返し (for,while) が理解出来る。	
4.5 多重ループ	2	<input type="checkbox"/> 多重ループが理解出来る。	
4.6 プログラムの構造の表現	2	<input type="checkbox"/> プログラムの構造の表現が理解出来る。	
4.7 条件分岐とループの演習	2	<input type="checkbox"/> 条件分岐とループを応用したプログラムを作成出来る。	
--- 後期中間試験 ---		授業項目 1～4 について達成度を確認する。	
>>> 次頁へつづく >>>			

